



「地域住民の意識調査アンケート」集計報告（続）

Q. 毎日の生活の中で不便だと思っていることは何ですか？

- 道が細くて運転しにくい。(50代男性)
道が狭い。(50代男性)
- 観光客がたくさん通るので車が入りづらい。
(三丁町の中) (30代男性)
- 買物難民生活。(80代女性)
- 毎日の通勤の時、一方通行に狭い道で、私有地にまで車が入ってくる。(60代女性)
- 観光客を呼び込むためのものとなっているが、大変非常識な観光客がゴミを捨てたり、生活道路に道いっぱい広がり、集団で我が物顔で歩いたり、先日は奥まったところの自宅（わが家）前の花々を勝手に被写体にするため断りなく侵入し、写真を撮っていた。優しく注意しても逃げるようにしてその場を離れた老夫婦など安全面でも衛生面でも大変不安、不便。(40代女性)
- 近所に商店がないので買物が不便。(80代男性)
- 車が多いので外出がおっくうだ。(80代女性)
- 日用品、食料品などを買う店が少ない。
(80代男性)
- お店がない。(70代女性)
- コンビニが近くにない。(60代男性)
- 交通量が道幅の割に多いこと。(40代女性)
- 修理が必要になったときに困ると思う。(重伝建にふさわしい建物ではないので) (50代女性)
- 買物が不便、日常生活特に高齢者。(60代女性)
- 家の前に駐車場がない。(50代男性)
- 特にないが西にコンビニがあればいい。ミニマーケットでもいい。老人で車がない人は買物に困る。(60代男性)
- 西部に商店がない。(60代女性)
- よその区の方々から「大変ですね」と言われるのがいや。(60代男性)
- 道路の幅員が狭い。(50代男性)
- 自由に自宅をいらえないこと。(60代男性)
- 消雪装置がない不便を、冬になると感じる。
(70代男性)
- 道路が狭く、駐車場がなく、交通に不便となった。(70代男性)
- 老人の人の買物。(50代男性)
- 近所が草木ぼうぼうで虫が湧き困る。
(70代男性)
- 雪を捨てる場所がない。融雪装置をつけるべき。(50代男性)
- 大きな建物が東へ移り、買物も遠くなり、不便になった。西部地区の活性化がなくなった。
(50代男性)
- 何かをしようというときの申請などの不便。
(40代男性)
- 冬期の積雪時の通行。(60代男性)
- 近くに食料品店、日用品店が少ない。公共交通機関の運行便が少ない。(70代男性)



Q. 国、県、市からの補助金で家を修理する制度を知っていますか？

	総計	鹿島	男山	浅間	貴船	白鳥	香取	大原	飛鳥
知っている	93	17	6	9	8	15	11	15	12
知らない	1								1
無回答	6	3				1		2	

見事に「知っている」がダントツとなりました。「知っている」から「興味がある」「アンケートに回答する」なのか、当然みんな知っているのか…。

後者だとすると、通り一遍の補助金説明会は、その形を問われることになるし、説明すべきことはもっと深い部分が求められているということになるでしょう。

いずれにしても、説明会のあり方を考えさせてくれる答えが出たのではないのでしょうか。

Q. 補助金を利用して修理をしたいと思えますか？

	総計	鹿島	男山	浅間	貴船	白鳥	香取	大原	飛鳥
思っている	25	6	2	3	2	4		4	4
思わない	46	8	3	5	1	8	10	7	4
無回答もしくは修理済	29	6	1	1	5	4	1	6	5



こちらは結果にばらつきが出ました。香取区に至っては「思う」ひとはゼロです。新しいお家にお住まいの方が回答くださったのでしょうか。

意外と「思わない」方が多かったのは、やはり住んでいらっしゃる環境のせいでしょうか。

「無回答」が多かったのも特徴です。関心がないのかもしれませんが、もともと修理対象のお宅ではないのかもしれません。

小浜西組町並み協議会 24年度 第1回役員会報告

日 時：平成24年4月25日（火） 19：30

場 所：鹿島 町並み保存資料館

1 市より報告

環境整備事業について：

当初計画より一年前倒して本年度より環境整備の設計に入ります。

重伝建補助事業について：

本年度は12件の補助事業を予定しています。工事着工は5月終わりが6月初

めです。また、平成25年度の申請は6件でした。今後は審議会で協議の上、予算化に向けて調整します。

景観形成事業について：

1件は建物外壁工事、2件が親子式住宅用火災警報器の合計3件の希望がありました。

各区説明会について：

小浜小学校跡地の進捗などの説明もあり、今年度も各区説明会を予定しています。

全国女流落語大会について：

県開催の同大会が9月22、23日に開催予定。今後協議会に協力依頼することになるかもしれません。

2 協議事項

総会について

- 1) **規約改正案について：**部会を廃止し、広報、建築、地域活性化、環境整備、資料館企画の5つの委員会を設置する。
役員会の成立は役員の1/2の出席を以てすることなどが主な骨子です。ほぼ原案通り可決しました。
- 2) **組織図について：**環境整備委員会を市当局の環境整備を検討協議する組織とし、各区よりひとりずつ入っていただくこととなりました。
地域活性化委員会は、若手中心の委員会構成とし、今後の活躍に期待するところとなりました。
- 3) **事業報告、決算書について：**例年の活動以外に、アーティストインレジデンス、よろず相談所、まちづくりアンケート、まちづくりワークショップ、防災機器の整備、市制60周年の記念表彰などを付け加えました。
- 4) **事業計画、予算書について：**これも例年以外に、よろず相談所、西組イベント、建築全般への助言、相談活動、通過車両の抑制啓蒙活動などを加えました。
- 5) その他、総会の進め方などについて打ち合わせを行いました。
- 6) 最後に、総会案内を各会員にお配りいただくために、各区理事の皆様方に案内状をお持ち帰りいただきました。





三丁町カフェ ボンクラ (小浜香取区)



3月10日にオープンした『三丁町カフェボンクラ』の表構えは、木製の玄関戸、趣があるガラス戸の出窓、^{ひさし}庇は杉皮で葺いてあります。玄関に入ると正面にエスプレッソコーヒーマシン（イタリア製）の赤い色が目にとまります。奥へ入っていくと、箱階段もそのまま残された茶室があり、どこか懐かしい、落ち着いた雰囲気がある和の空間、箱階段もインテリアとして存在感がありました。

店主である河野泰夫さん（60歳）にお話を伺いました。

「三丁町へ来られた人に、通りを歩くだけでなく、家の中に入って、中を見ていただきたいという気持ちが、カフェをオープンするきっかけになりました。エスプレッソコーヒーマシンの色とベンガラ格子の色と同じようではないでしょうか？」と笑顔で話されました。

「重伝建選定後、何軒かは家屋の修理工事が進み、良い雰囲気になってきています。観光のお客さんは、NHKの『ちりとてちん』や大河ドラマ『江』の放映の頃は、10～20名の団体さんと語り部さんといったパターンが多かったのですが、最近では2～3名または、5～6名のグループで来られる方が多いように思います。

将来的にはこの通りが何か特徴を持った町になるとよいと思いますね。現時点では私もよくわかりませんが、たとえば^{あか}灯り…でも良いので、行政、地域住民が提案しあって、特色がある賑やかな三丁町ができるといいなと思います。」と話して下さいました。



箱階段



店内の様子